

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

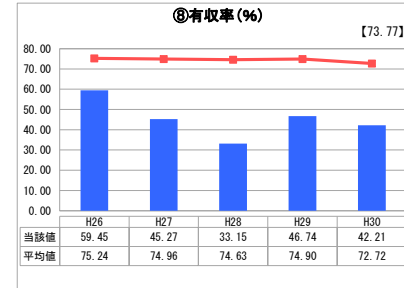
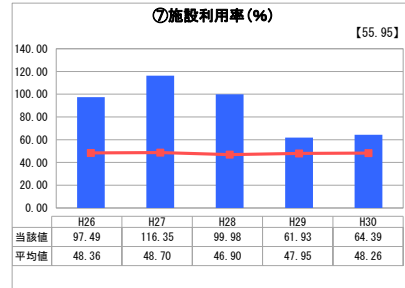
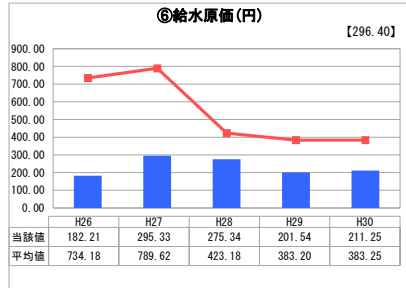
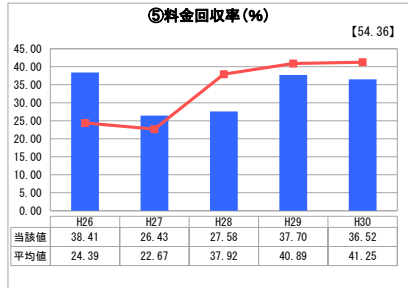
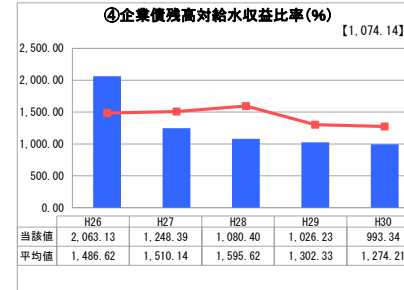
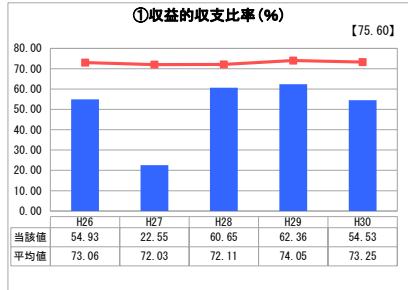
岐阜県 白川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	94.90	1,235	

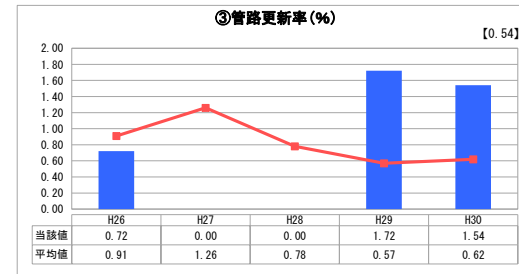
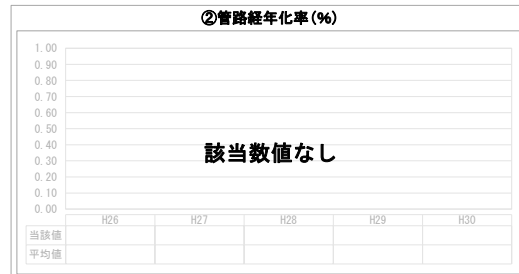
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,630	356.64	4.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,508	0.80	1,885.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

人口減少により料金収入が減少したため収益の収支比率も減少した。有収率が類似団体の平均値よりも低いので漏水等が考えられるので修繕していく必要がある。料金収入が少なくなってきたため一般会計からの繰入金に頼っているところがあるため、料金改定などをして料金回収率を改善していく必要がある。施設利用率については季節により配水量に変動があるためH29年度から配水能力を多めにみているため数値が減少してきている。

### 2. 老朽化の状況について

昨年度から漏水が起りやすい古い管の更新を行っている。しかしまだまだ修繕していかなければならない箇所があるので、計画的に直していく必要がある。更新ができない要因については予算の関係や料金収入が少ないため進んでいないと思われる。

### 全体総括

今後の人口減少により料金収入が減少してくるが、老朽化する施設・管路などの更新が必要である。そのため経費の削減や効率的な業務の遂行に努め、水道会計の健全運営に努める必要がある。料金収入が減少してくるので料金改定の検討をしていく必要がある。